

中国少数民族の分布に関する考察

A Study on the Distribution of Minorities in China

杜 国 慶*

Guoqing DU

Abstract: According to the Census of 2000, the population of 55 registered minorities occupies 8.41% of national total population, but the distribution areas occupy as high as 63.27% of national territory in People's Republic of China. The author clarified the distribution characteristics of minorities in China. The distribution of minorities in China is not only a result of long history, but also an integrated result of geographical elements such as precipitation and topography.

Key words: 少数民族 (minority), 自治区 (Autonomous Region), 中国 (China)

- I はじめに
- II 中国の民族識別および少数民族
- III 少数民族に関する政策と行政区画
- IV 中少数民族の分布とその要因

I はじめに

中国は漢民族の国家と思っている人は意外と多いが、中国は一貫して多民族国家であった。ちなみに、中国の戸籍はもちろん、一般の履歴書などには、必ず「民族籍」という欄が設けられている。中国では、エスニックのことを「少数民族」と言う。漢民族以外に、中国政府が公式に認定した55の少数民族が、主に東北部、西北部、西南部と、国境などの辺境を中心にしながら居住している(市川・市橋, 1998)。

II 中国の民族識別および少数民族

民族識別とは、1949年に中華人民共和国が成立してから、国民に対する民族別の区分作業を指

す。実際に、1935年の調査では、少数民族の数は400程であったが、民族識別工作により統合を推進し、56の民族が公認された。漢族を除く55の民族は人口数が少ないため、「少数民族」と称されている。中国残留日本人孤児などに由来する日系、香港・マカオの返還にともない中国の国民となったイギリス系、ポルトガル系は、少数民族としては扱われていない。

中国第5回人口センサス(2000年)の統計データ(表1)によると、55の少数民族の中で人口が500万を超えるのはチワン族(1,617.88万)、満州族(1,068.23万)、回族(981.68万)、ミャオ族(894.01万)、ウイグル族(839.94万)、トゥチャ族(802.81万)、イ族(776.23万)、モンゴル族(581.39万)、チベット族(541.60万)であり、うちチワン族は1500万を超え、少数民族の中で人口が最も多い民族である。人口10万以下のメンバ族(0.89万)、オロチョン族(0.82万)、トールン族(0.74万)、タタル族(0.49万)、高山族(0.45万)、ホジョン族(0.45万)、ロッパ族(0.29万)の7民族は少数民族の中で人口が比較

*立教大学観光学部(観光学科)および大学院観光学研究所・准教授

表1 人口センサスから見る中国の少数民族(2000)

少数民族表記		人口 (万)	分布区域と割合(%) ¹⁾						
日本語	中国語								
チワン	壮	1617.88	広西 (91.4)	雲南 (6.5)					
満回	満回	1068.23	遼寧 (50.4)	河北 (17.6)	黒龍江 (12.1)	内モンゴル (4.6)	吉林 (1.1)		
ミャオ	苗	981.68	寧夏 (17.7)	甘肅 (12.7)	河南 (10.1)	新疆 (7.9)	青海 (7.4)		
ウイグル	維吾爾	894.01	貴州 (50.0)	湖南 (21.0)	雲南 (12.1)	四川 (7.2)	広西 (5.7)		
トゥチャ	土家	839.94	新疆 (99.7)						
イ	彝	802.81	湖南 (31.5)	湖北 (31.0)	四川 (18.9)	貴州 (10.8)			
モンゴル	蒙古	776.23	雲南 (61.7)	四川 (27.1)	貴州 (10.8)				
モンゴル	蒙古	581.39	内モンゴル (70.2)	遼寧 (12.2)	新疆 (3.4)	吉林 (3.2)	黒龍江 (2.9)		
チベット	藏	541.60	チベット (45.6)	四川 (23.7)	青海 (19.8)	甘肅 (8.0)	雲南 (2.4)		
プイ	布依	297.15	貴州 (94.4)	雲南 (1.3)					
トン	侗	296.03	貴州 (56.0)	湖南 (30.0)	広西 (11.4)				
ヤオ	瑶	263.74	広西 (62.1)	湖南 (21.5)	雲南 (8.1)	広東 (6.3)			
朝鮮	朝鮮	192.38	吉林 (61.5)	黒龍江 (23.6)	湖南 (7.2)				
ペー	白	185.81	雲南 (84.0)	貴州 (7.6)	湖南 (7.2)				
ハニ	哈尼	143.97	雲南 (99.5)						
カザフ	哈薩克	125.05	新疆 (99.6)						
リー	黎	124.78	海南 (91.8)	貴州 (7.2)					
タイ	傣	115.90	雲南 (99.0)						
ショオ	畲	70.96	福建 (54.9)	浙江 (27.4)	江西 (12.1)	広西 (4.2)			
リス	傈僂	63.49	雲南 (96.9)	四川 (2.8)					
コーラオ	佤佬	57.94	貴州 (98.3)						
トンシャン	東郷	51.38	甘肅 (83.3)	新疆 (15.1)					
ラフ	拉祜	45.37	雲南 (99.2)						
スイ	水	40.69	貴州 (93.2)	広西 (3.7)	雲南 (2.2)				
ワ	佯	39.66	雲南 (98.8)						
ナシ	納西	30.88	雲南 (95.6)						
チャン	羌	30.61	四川 (99.0)						
トゥー	土	24.12	青海 (85.0)	甘肅 (11.0)					
ムーラオ	仫佬	20.74	広西 (97.9)						
シボ	錫伯	18.88	遼寧 (69.5)	新疆 (19.1)					
キルギス	柯爾克孜	16.08	新疆 (99.0)						
ダフル	達斡爾	13.24	内モンゴル (59.0)	黒龍江 (35.0)					
チンポー	景頗	13.21	雲南 (99.2)						
マオナン	毛南	10.72	広西 (98.3)						
サラ	撒拉	10.45	青海 (87.8)	甘肅 (7.7)					
ブーラン	布朗	9.19	雲南 (99.4)						
タジク	塔吉克	4.10	新疆 (99.9)						
アチャン	阿昌	3.39	雲南 (99.7)						
プミ	普米	3.36	雲南 (98.8)						
エヴェンキ	鄂温克	3.05	内モンゴル (88.8)	黒龍江 (9.8)					
ヌー	怒	2.88	雲南 (98.0)						
キン	京	2.25	広西 (86.8)	貴州 (5.4)					
ジノー	基諾	2.09	雲南 (99.0)						
ドアン	德昂	1.79	雲南 (99.6)						
ポウナン	保安	1.65	甘肅 (90.6)	青海 (5)					
オロス	俄羅斯	1.56	新疆 (59.8)	内モンゴル (32.4)					
ユーグ	裕固	1.37	甘肅 (96.0)						
ウスベク	烏孜別克	1.24	新疆 (99.7)						
メンバ	門巴	0.89	チベット (99.1)						
オロチョン	鄂倫春	0.82	黒龍江 (51.5)	内モンゴル (44.5)					
トールン	独龍	0.74	雲南 (95.1)						
タタル	塔塔爾	0.49	新疆 (98.8)						
高山	高山	0.45	福建 (17.9)	河北 (8.4) ²⁾					
ホジョン	赫哲	0.45	黒龍江 (88.3)						
ロツバ	珞巴	0.29	チベット (96.0)						

出処：中華人民共和国国家統計局 (2001)

注：1) 括弧の中の数字は、その民族が括弧前の地域に分布人口がその民族の総人口に占める割合を示す。

2) 台湾のものは含まれていない。

的に少ない。

少数民族は主に内モンゴル、新疆、チベット、広西、寧夏、黒竜江、吉林、遼寧、甘肅、青海、四川、雲南、貴州、湖南、湖北等に分布している。

Ⅲ 少数民族に関する政策と行政区画

中国は、民族区域自治という少数民族政策を取っており、民族ごとに集住地域を「区域自治」の領域として指定した。そこでは、「民族の文字・言語を使用する権利」、「一定の財産の管理権」「一定規模の警察・民兵部隊の組織権」「区域内で通用する単行法令の制定権」などを認める。実際は、漢語以外による高等教育が極めて少ないため、少数民族の言語による教育は、民族史などごくわずかな研究分野に限られている。

法律の規定によれば、民族自治地方の人民代表大会常務委員会の主任と副主任、自治区主席、自治州長、自治県長は、その民族の公民が担当する(中華人民共和国国務院新聞弁公室, 2000)。現行制度下では、第一級行政区画として省、自治区、直轄市が、下位の地級(地区級)行政単位として、地区、地級市、アイマク(盟)、自治州、さらに下の県級の行政単位として県、県級市、旗(ホシヨウ)、そして末端の行政単位として郷、スムがある。

中華人民共和国が成立する前の1947年、当時すでに解放されたモンゴル族地区に中国最初の省クラスの少数民族自治区「内モンゴル自治区」が設立された。その後、1955年に「新疆ウイグル自治区」、1958年に「広西壮族自治区」と「寧夏回族自治区」、1965年に「チベット自治区」と、計5つの省クラスの自治区を成立した。2003年末まで、計155の民族自治区を設立した。うち、5自治区、30自治州、120自治県(うち3自治旗)との構成となる。さらに、地方自治単位「郷」に相当する少数民族地域には計1173の民族郷が設けられている(人民網日本語版, 2005)。

図1で示すのは、少数民族自治区の分布である。5つの自治区はいずれも中国の北部と西部、南部の辺境地域に位置する。自治区のほかに、30

の少数民族自治州が西部と南西部の青海省、四川省、雲南省、貴州省を中心に分布し、東北地域には吉林省の延辺朝鮮族自治州が唯一の自治州である。120の少数民族自治県も同様な分布傾向を示すものの、分布範囲は東北地域の遼寧省・黒竜江省、河北地域の河北省、華中地域の湖北省・湖南省、華南地域の広東省・海南省などまで拡大する。特徴として、東北地域と西北地域の自治県はいずれも単一民族のもので、民族の集中的な分布傾向を示す。対照的に、西南地域には、複数の少数民族が同一県に混在する傾向が著しい。例えば、重慶市にはトゥチャ族とミャオ族、貴州省にはトゥチャ族・ミャオ族・プイ族・コーラオ族、雲南省にはイ族と回族、ミャオ族、タイ族、ハニ族が同一県に混在する。

上記の表1で示すように、雲南省には、漢民族以外の中国55の少数民族のうち、22もの少数民族がある程度の人口で一定の集落を構成して居住している。うち、ハニ、タイ、リス、ラフ、ワ、ナシ、チンポー、ブーラン、アチャン、プミ、ヌー、ジノー、ドアン、トールンなど14の少数民族は95%以上の人口が雲南省に居住している。雲南省だけに居住する民族もあれば、ミャンマー、ベトナム、ラオス、タイなど国境を跨って広くメコン川流域に散在する民族もある(市川・市橋, 1998)。このような国境を越えて同一民族が分布している状況は、新疆、内モンゴル、吉林省でも確認できる。中国の国境沿いに分布している135県のうち、107が民族自治県である。このように、民族地域は国家安定と防衛にも重要な意義をもつ。

Ⅳ 中少数民族の分布とその要因

中国の2000年第5回人口センサスによると、少数民族の人口は10,449.07万人で、全国人口の8.41%を占める。しかし、少数民族の自治区の面積は611.73万km²にも及び、国土面積の63.72%も占める。人口で見れば、少数民族は文字通り「少数」であるが、その居住は広範囲にわたる一定の地域に集中しており、さらにその居住は各々に長い歴史をもって、地域の特性に応じた

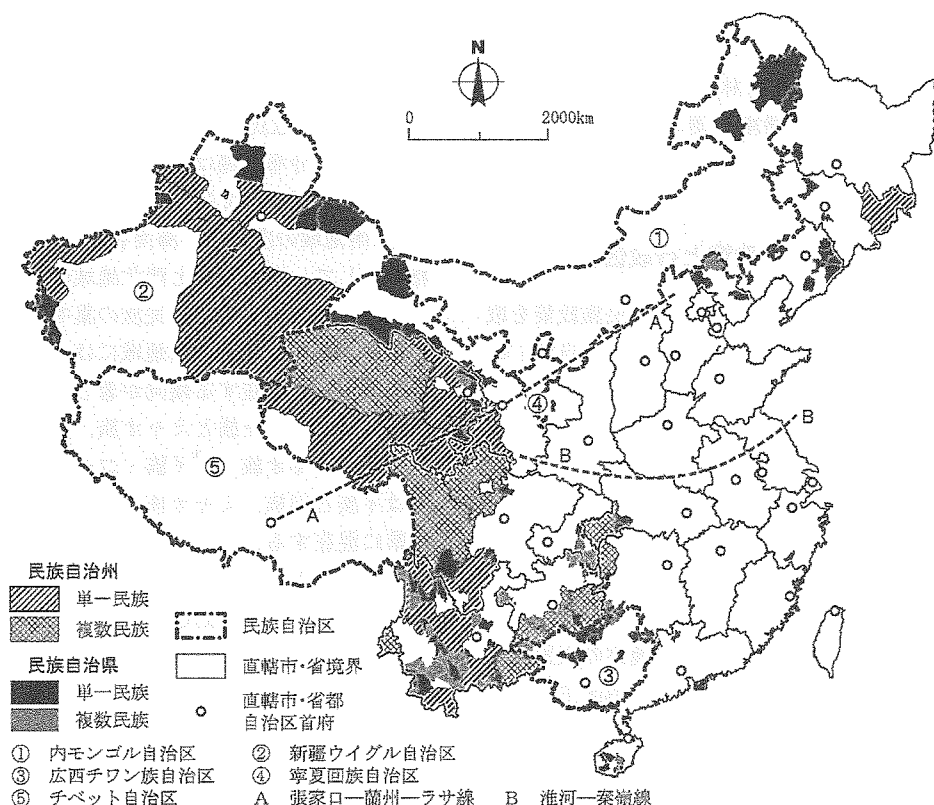


図1 中国の少数民族自治区の分布（中華人民共和国民政部，2006により作成）。

民族固有の生活様式を定着させており，地域と民族の関係は深い。

地域分布をみると，少数民族の割合が高いのは，チベット（94.1%），新疆（59.4%），広西（38.3%），寧夏（34.5%）などの自治区と，青海（45.5%），貴州（37.9%），雲南（33.4%）など西南地域の省である。またチベットや広西のように単一の民族が圧倒的多数を占める地域と，雲南のように多種の民族が混住している地域があり，これらの地域は漢民族が圧倒的多数を占める東部平原地域を取り囲むように分布している。

中国の歴史は統一と戦乱の繰り返しであると言われる。しかし，統一と戦乱は相互に補完し合い，相互に内包し合うような関係ももっていた。非漢民族は積極的に漢民族の文化を吸収し，漢民族も異民族的要素を包摂することで，相互に文化を豊かなものにしていった。「中国」あるいは「中華」などの言葉自体が指す漢民族に対して，周辺の民

族は禽獣のような存在と見なし，蔑視する意図を込めた「東夷南蛮西戎北狄」と呼んだ時代もあったが，今日の中国の民族構成は，長い歴史を経てきたものと考えられる（秋山，1991）。たとえば，現在，少数民族と認定された湖南省と湖北省に居住しているトゥチャ族は，元々中国の中心地「中原」（現在の河南省）で生活していた漢民族だったという説もある。

歴史と並んで自然の多様性も民族を作り出しているもう一つの要素であろう。中国の張家口—蘭州—ラサを結ぶ線が年降水量400mmの等雨量線とほぼ一致するが，これより内陸部が乾燥地域，準乾燥地域であるのに対し，以東は太平洋からの夏のモンスーンによって多量の雨がもたらされる湿潤，準湿潤地域である。また，秦嶺山脈と淮河本流の流路を結ぶ「秦嶺—淮河の線」がほぼ1,000mmの等雨量線と一致し，中国では小麦と水稲の作付の境界とされてきた（河野，1991）。

図1で示されるように、張家口—蘭州—ラサ以西の乾燥・準乾燥地域では、ウイグル族、チベット族などの少数民族が居住し、生業も自然に適した牧畜業を主とし、服装にも毛皮などが多く用いられる。対照的に、ミャオ族、ヤオ族、トン族などの稲作に依存する民族は、秦嶺—淮河以南に居住し、餅を食べ、藍染の衣服を着用するなど、日本の稲作文化にと同様な生活様式をもつ。

上述した東北地域と西北地域の民族分布の単一性と西南地域の多民族の混在性は、特にその地域の自然の単純さと複雑さによるものであると考えられる。たとえば、雲南は横断山脈の存在によって、中国で最も複雑かつ多様性に富む地域であると言われる。南北に連なる横断山脈が東西の交通を切断したため、民族のコミュニケーションと文化的交流も切断された。したがって、横断山脈の中では多数の独特な少数民族文化が形成され、29の少数民族自治県もあり、多種多様な民族文化に溢れる(杜, 2006)。

このように、中国では、長い歴史と広大な自然の相互効果で民族の多様性を作り出したと考えられる。

文 献

- 秋山元秀 (1991) : 2 中国, pp. 10-29. 河野通博 編 (1991) : 『新訂 東アジア』, 大明堂, 242 p.
- 市川捷護・市橋雄二 (1998) : 『中国 55 の少数民族を訪ねて』, 白水社, 339 p.
- 河野通博 (1991) : 1 東アジアの自然と人文, pp. 3-9. 河野通博 編 (1991) : 『新訂 東アジア』, 大明堂, 242 p.
- 人民網日本語版 (2005) : 『中国少数民族地域における自治の歩み』, 2005年3月1日. http://j.peopledaily.com.cn/2005/03/01/jp20050301_47962.html
- 中華人民共和国国務院新聞弁公室 (2000) : 『中国の人権発展50年』.
- 中華人民共和国国家統計局 (2001) : 『第5次人口普查』.
- 中華人民共和国民政部 編 (2006) : 『中華人民共和国行政区画簡冊』, 中国地図出版社.
- 杜 国慶 (2006) : 観光開発に伴う世界遺産「麗江古城」の変容, アジア遊学, 第83号. pp. 145-159.

